

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 67.0%, 県 69.2%)

対県比 - 2.2%

学力定着実態調査 本年度正答率

本校 75.6%
全国 73.5%

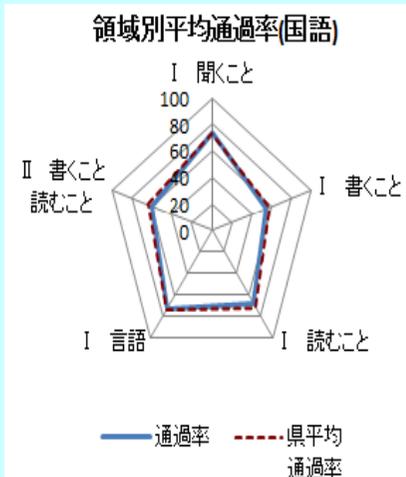
対全国比 2.1%

本年度の結果について

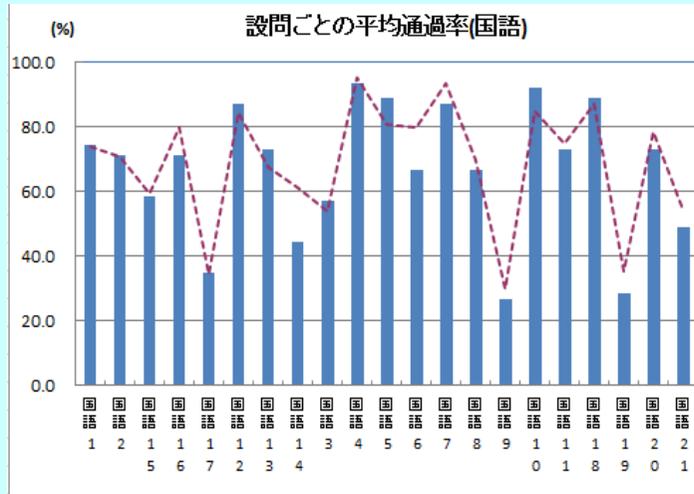
2年生は、タイプⅠは 68.7%，タイプⅡは 59.9%の通過率で、基礎的・基本的な内容は、読む力と書く力、応用的な内容は、読むと書くの総合的な力の定着に課題がある。

3年生は、A問題は 80.0%，B問題は 74.0%の通過率で、基礎的・基本的な内容も応用的な内容、ほぼ定着が図られていると考えられる。

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

本校 80.0%
全国 77.4%
県 78.0%

B問題

本校 74.0%
全国 72.2%
県 73.0%

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 + 2.0%

重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(読むこと) (44.4%)

登場人物の心情把握に課題がある。主人公の気持ちの変化がどこに描かれているか、また、もう一人の登場人物と対比しながら読むことができていない。

【課題2】(書くこと) (71.4%)

資料の活用に課題がある。新聞に入れる記事の内容の根拠となる資料を選択する問題である。記事の内容の読み取りができていない。

全国学力・学習状況調査

【課題1】(話すこと・聞くこと) (72.1%)

スピーチの構成を説明したものを選択する問題である。事実と考えの関係に注意して、どのように構成を工夫するかが理解できていない。

【課題2】(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項) (36.8%)

表現技法の活用に課題がある。比喩を用いた表現に着目することができていない。名称は知っていても、具体例を挙げて説明することができない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値 (60.0%) 実施後数値 (%)

授業の文学作品の読み取りにおいて、類題を作成し、復習問題として解かせる。答え合わせの時に、どこから読み取れるのか、根拠を持って答えられるように確認作業をさせる。

【課題2】目標値 (80.0%) 実施後数値 (%)

週末テストの時間に活用力アップシート(複数の資料を使って解かせる練習問題)を解かせ、各自で答え合わせをさせる。回収後返却時に、二つの資料の関係性を捉えさせ、内容の読み取りを確認させる。

全国学力・学習状況調査

【課題1】目標値 (80.0%) 実施後数値 (%)

活用力アップシートの中に、「目的に応じて工夫し、発表する」という項目があるので、その問題を使って、どのような構成方法で発表をしているか、工夫しているところはどこかを考えさせる。

【課題2】目標値 (50.0%) 実施後数値 (%)

授業の読み取りにおいて、詩や短歌・俳句以外の散文においても、随時比喩的表現が使われているところを指摘し、何のどのような様子を表現しているのか質問し、確認する。

※今後の改善計画については別紙

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 63.7%, 県 66.9%)

対県比 -3.2%

学力定着実態調査 本年度正答率

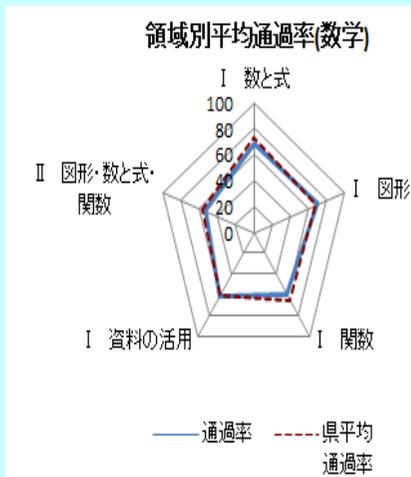
本校 69.3%
全国 68.3%

対全国比 +1.0%

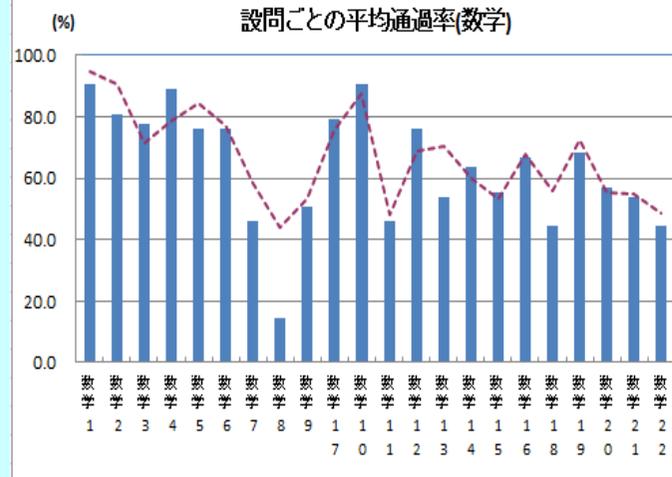
本年度の結果について

1 年生については基本問題・思考問題について概ね理解は出来ている。
2 年生についてはタイプ1・タイプ2とも県の平均通過率を下回っており、計算・用語の意味・関数・作図において基本事項の定着を図る必要がある。
3 年生については基本については県や全国の正答率を上回ったが活用問題については下回った。

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

本校 69.0%
全国 64.6%
県 64.0%

B問題

本校 48.0%
全国 48.0%
県 48.1%

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 +2.5%

重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(四則計算) (81.0%)

四則計算の計算順序が理解できていない。累乗から括弧内、乗除、加減と続く計算ルールを理解する。

【課題2】(反比例) (54.0%)

反比例がどんなものかが、分かっていない。表やグラフや式にいたるまで総合的な理解ができる。

全国学力・学習状況調査

【課題1】(立体の体積) (39.7 %)

立体の特徴を理解し、展開図・見取り図・投影図に表し、表面積や体積をもとめることができる。

【課題2】(規則性に関する問題) (10.3%)

規則性に関する特徴を理解し、式に表すことができる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値 (90%) 実施後数値 (%)

授業の中で、計算場面を作り、練習する。計算順序に関して、順番を理解するためのワークシートを活用して練習する。また、定期的に家庭学習ができるように課題を設定する。また一定期間をおいて試験で確認する。

【課題2】目標値 (70%) 実施後数値 (%)

関数領域では、表やグラフや式について反復ドリルやフラッシュカードで丁寧に繰り返して練習し、基本の定着を図る。また活用の場面を多めに設定し、それについても表やグラフや式を丁寧に書く指導をする。

全国学力・学習状況調査

【課題1】目標値 (50%) 実施後数値 (%)

立体については、展開図・見取り図。投影図に関しては、最初は丁寧に描く。のちは概略がすぐにメモできるスペースをワークシートに設け、繰り返し描くようにする。公式を反復して確認し、図を基に表面積・体積を求めようとする。

【課題2】目標値 (25%) 実施後数値 (%)

規則の特徴が何で有るか。表現できるようにする。表現できたことに関して式に表せるようにする。また、定期的に家庭学習ができるように課題を設定する。また一定期間をおいて試験で確認する。

※今後の改善計画については別紙

指導方法等の改善計画について [理科]

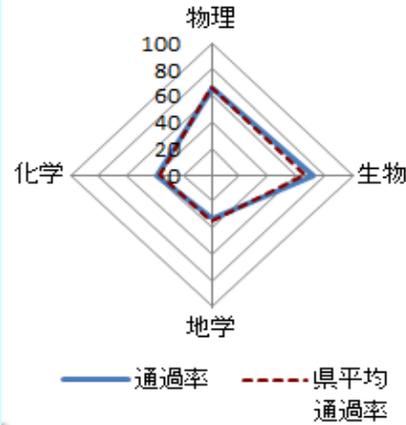
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 52.5%, 県 50.8%)

対県比 +1.7%

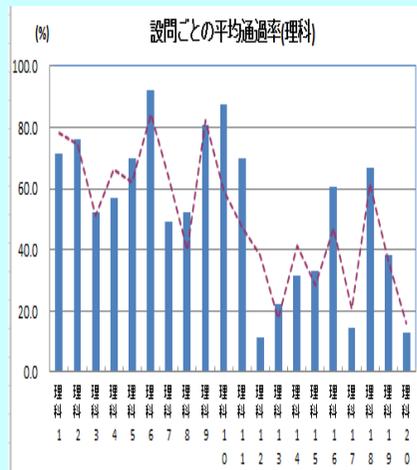
本年度の結果について

領域別平均通過率

領域別平均通過率(理科)



設問ごとの平均通過率



学力定着実態調査 本年度正答率

本校 58.5%
全国 61.1%

対全国比 -2.6%

本校では、地学・化学の分野の正答率が低くなっている。特に地学分野では、県平均を下回る問題が、5問中2問であった。鉱物の名称など曖昧に覚えていることが多く、確実に知識の定着ができる取り組みが必要である。また、実験道具の使用方法についても、定着をさせる必要がある。

重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(鉱物の名称) (11.1%)

鉱物の名称とその特徴について理解ができていない。それぞれの鉱物のでき方と特徴を理解する必要がある。

【課題2】(実験道具の使い方) (14.3%)

メスシリンダーを用いた固体の体積のはかり方の理解ができていない。固体を液体に入れた時に固体の体積を理解する必要がある。また、メスシリンダーの使い方も理解する必要がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値 (30%) 実施後数値 ()

復習問題を実施する。その過程で、実際に鉱物を提示し、体感しながら特徴を理解していく。

【課題2】目標値 (30%) 実施後数値 ()

授業の中でメスシリンダーを使用する場面を設け、実験をしながらメスシリンダーの使用方法を学習していく。また、復習テストを実施し、理解度の向上を図る。

※今後の改善計画については別紙

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 79.1%, 県 72.4%) **対県比 +6.7%**

本年度の結果について

本校では、聞き取り問題の通過率が県平均を下回るものが、6問中2問もあり、英文を正しく聞き取り、問われていることに対する答えを見つけることが苦手である。また、長文読解では内容を詳しく読み取ることが難しい。長文の中で適切な質問を考え英文を書くことに弱さがある。

領域別平均通過率(英語)

設問ごとの平均通過率(英語)

本校では、聞き取り問題の通過率が県平均を下回るものが、6問中2問もあり、英文を正しく聞き取り、問われていることに対する答えを見つけることが苦手である。また、長文読解では内容を詳しく読み取ることが難しい。長文の中で適切な質問を考え英文を書くことに弱さがある。



重点課題

基礎・基本」定着状況調査

【課題1】リスニング(英文の内容理解、概要や要点の把握) (74.6%)
簡単な会話文の内容を正確に理解することができていない。また、15と50ノ聞き取りが不十分である。

【課題2】(読むこと・書くこと) (60.3%)
長文の中の一部を読み、文と文のつながりを考えて、流れに沿った英文の質問を考えることが不十分である。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値 (80%) 実施後数値 (%)
授業の中で聞き取り問題を定期的に行い、自然な速さで読まれる英文を正確に聞き取る練習をする。また、数字の聞き取りを意識した授業を行う。

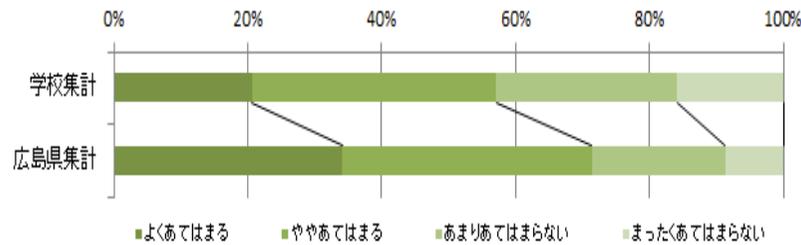
【課題2】目標値 (62%) 実施後数値 (%)
授業の中に英問英答を位置づけ、長文読解でもそうした応答が自然に理解できるようにする。

※今後の改善計画については別紙

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

（１）生活・学習

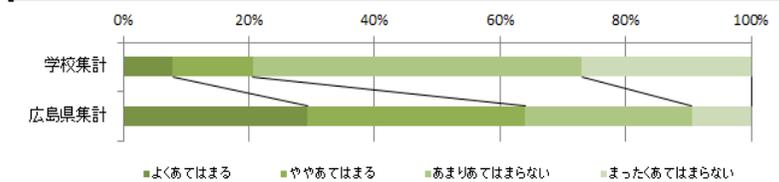
自分には良いところがあります。



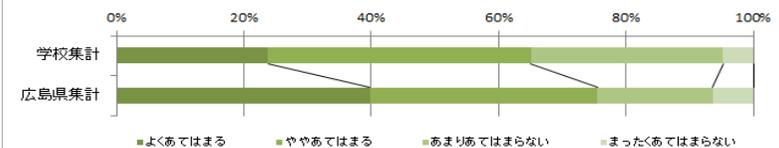
生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
「自分には良いところがあります」という設問に肯定的な回答をした生徒が57.1%であり、県平均と比べて-13.8%となった。自己肯定感の低さが自信の無さにつながり、積極的に自分の考えを述べたり、コミュニケーションをとることができなくなっていることに影響を与えている。	集団づくりとして全校や学年集会を定期的に設け、自分の意見を述べる場を設ける。 生徒会を中心として生徒の自主活動の場を設け、達成感や成就感をもたせる取り組みを進める。	2	70%	生徒アンケート	12月実施		

（２）教科

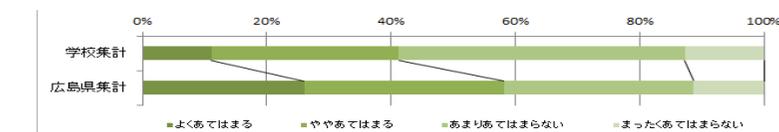
国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



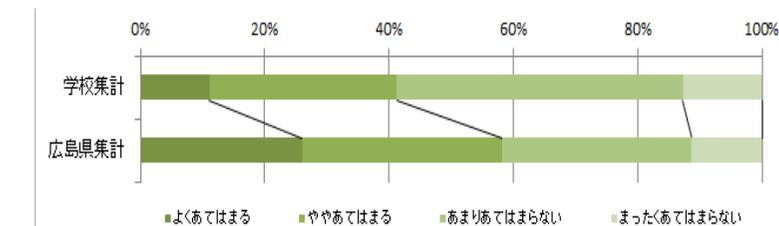
数学の授業では、問題を解く時には、前に習ったことが使えないかいつも考えています



理科の授業で学んだことを普段の生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるかを考えたりしています



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「国語の授業で学んだことの振り返りをしています」という設問で肯定的な回答をした生徒が20.6%で県平均と比べて-33.4%であった。	振り返りシートなどを作成し、毎時間の振り返りをさせる。また、次時でその内容を確認するようにする。	2	60%	生徒アンケート	12月実施		
数学	「数学の授業では、問題を解く時には、前に習ったことが使えないかいつも考えています」という設問で肯定的な回答をした生徒が65.1%で県平均と比べて-15.4%であった。	前時の復習の時間を多めに設定するとともに、発問を工夫し、課題解決に何が必要か考える場面を多く設定する。	2	75%	生徒アンケート	12月実施		
理科	「理科の授業で学んだことを普段の生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるかを考えたりしています」という設問で肯定的な回答をした生徒が47.6%で県平均と比べて-9.1%であった。	既習事項がどの場面でどのように使えるかについて考える場面を設定する。また、試験には活用問題を出題し、活用を意識できるようにする。	2	55%	生徒アンケート	12月実施		
英語	「英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています」という設問で肯定的な回答をした生徒が41.3%で県平均と比べて-19.4%であった。	授業では英語を使う場面を増やす。また、語彙力を増やすため、日常の挨拶や対話について掲示したり、たよりに掲載したりする。		50%	生徒アンケート	12月実施		